

新春むらづくり懇談会 要望・回答

1月17日に開催された、新春むらづくり懇談会での阿毘縁からの要望と、行政からの回答を掲載します。

要望 自衛消防団機具庫建設に対する補助金制度を改善して下さい。

(補助率並びに補助上限額の引き上げを行ってください。)

回答 自衛消防施設等整備事業は、補助要綱により地域の消防活動の推進に活用していただいております。補助率や上限額の変更など、これまでの経過や今後想定される要望を踏まえながら検証と検討を加えていく必要はあります。

ご要望の当該機庫の建設については、別途、地元が整備していただく整備費に対する助成事業を国や県の制度を活用することも検討したいと考えます。

要望 中心地域整備計画の実施に伴い、住民の交通手段を充実して下さい。

回答 町が進めるコンパクトヴィレッジ構想では、地域と中心地域の距離・時間を縮める取り組みが大きな柱と考えています。

中心地域整備の取り組みの中では、平成28年度から中心地域を定時運行するにする巡回バスの充実(時間帯、便数の拡大)を計画しています。

また、各地域と中心地域を結ぶ町営バス、デマンドバスについても、本年度総合的な調査を行い、平成28年度中にバス停、ダイヤ、運行方法等の見直しを検討する予定であり、より使いやすい公共交通の充実を目指します。

要望 万丈峠の堆雪帯設置計画を早急に実現するとともに、加藤氏宅前より下手の県道を拡幅するよう県に要望して下さい。

回答 県道印賀奥出雲線の堆雪幅設置は、防災安全交付金(雪寒)事業で、加藤氏宅から県境までの区間(延長620m)を現地測量に基づき詳細設計を行っているところです。今後は、H28年度に用地補償、工事着手は早くもH29年度からの見込みですが、国からの予算配分が厳しい状況です。

加藤氏宅前より下手の県道拡幅は、支障となる人家・交差点・河川などへの影響が大きく、雪寒事業での実施は困難であると判断されています。

高原だより

発行

阿毘縁自治会
阿毘縁むらづくり協議会

電話/FAX 87-0909

平成28年 2月

(通巻121号)

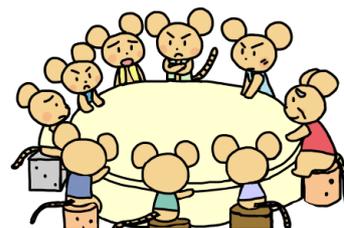


平成28年度むらづくり定期総会

日時 3月18日(金) 午後7時開会

場所 阿毘縁会館

- 議題
- ・平成27年度事業報告・決算の承認
 - ・会計監査報告
 - ・平成28年度事業計画・予算案の承認
 - ・平成28年度役員選任



多数のご参加お待ちしております。

協議会活動記録

《2月》

- 8日：保健福祉部会
- 9日：総務部会
- 12日：消防防災部会
- 13日：農業委員会選任会議
- 14日：文化学習部会
- 16日：むら協役員選任委員会
- 26日：第9回役員会



これからの予定

《3月》

- 総会前：監査会
- 18日：むらづくり定期総会



支援員のつばやき

十八日ひどく冷え込んだ朝、羽根の形をした、吹くことひらひらと飛ぶ霜に、今年も出会った▼こんな冬の楽しみ反面、この冬は、悲惨な事故もあった▼雇われて間もない六十代の運転手が、スキー客を乗せ夜行バスを運転して起こした。運転手は大型バスの運転に不慣れで、「自信がない」と言っていたという▼規制緩和でバス会社が乱立し競争激化。賃金が下がり若い運転手の確保が出来ない上に運転に慣れていない新職員を教育する余裕もないという▼「規制緩和」がいろんな分野で叫ばれ、良いことのように受け止められていたが、今、その付けが回ってきている▼政治を含む世の中のあり方を、考え直すことが大切ではないかと思うこの頃だ。

「阿毘縁むらづくりアンケート調査」報告（1）

昨年12月末より実施した「阿毘縁むらづくりアンケート調査」についてたくさんの方にご協力いただきありがとうございました。

アンケート結果の集計が出来ましたので、結果の要点について今号より数回に分けて報告いたします。

○ 阿毘縁地域の人口及び、アンケートの回収率

	人口（人）			回答者（人）			回収率（%）		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
20歳未満	9	13	22	—	—	—	—	—	—
30歳未満	6	9	15	3	3	6	50	33	40
30代以上	12	14	26	5	3	8	42	21	31
50代以上	42	30	72	22	17	39	52	57	54
70代以上	46	68	114	22	31	53	48	46	46
90代以上	6	9	15	1	4	5	17	44	33
計	121	143	264	53	58	111	47	45	46

10年前、まちづくり協議会結成モデル事業の取り組みの一環として、全住民を対象にしたアンケートを実施しました。その時は63名の委員さんが6つの作業部会に分かれて、阿毘縁の現状や今後の在り方、課題等について熱心に論議していただいた中での調査であり、班長さんを通じて積極的な回収も行ないましたので、回収率は70%を超えていました。

今回は過疎化とともに住民の高齢化もさらに進むという条件の下で、回収方法も緩やかであったということもあり、回収率が全体では50%を切りました。特に若い女性世代での回収率が低かったですが、中核となる年代では50%を超える回答がありました。

○ 現在困っていること、将来困ると思うこと

「現在困っていること」「将来困ると思うこと」という問いに対しては、70代以上の方に該当者が多く、現在困っていることとしては「除雪・家の管理」「田畑・山林の管理」「食事作り」が上位でした。

「将来困ると思われること」としては、高齢化に伴いどの項目でも該当する回答が増えています。とりわけ「家族や自分の介護」を挙げる人が大幅に増えていますが、半分以上の項目についても、該当するという回答が増えています。

	現在困る			将来困る		
	男	女	計	男	女	合計
食事作り	3	8	11	20	22	42
買い物	1	8	9	20	23	43
通院	1	8	9	22	24	46
移動手段	2	7	9	20	19	39
田畑・山林管理	4	9	13	28	30	58
除雪・家の管理	6	9	15	29	29	58
墓の守り	2	2	4	18	21	39
跡継ぎの確保	2	4	6	10	17	27
若者の仕事	2	3	4	9	9	18
若者の結婚	2	4	5	9	9	18
介護	2	4	6	26	30	56
防犯	2	2	4	4	8	12
その他	0	2	2	1	0	1